



IM

Course

Ritsumeikan Uji Senior High School

 文部科学省「WWL拠点校」  IBDP認定校



Beyond Yourself

R i t s u m e i k a n U j i S e n i o r H i g h S c h o o l

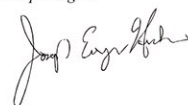
日々成長を重ね 社会に貢献できる力を身につけた 真の国際人の育成

グローバル化した世界において、次の世代を担うみなさんが、ただ知識を暗記して選択テストで高得点を取る、これだけでは不十分です。世界に関心を向けながらも、自分を鍛錬しなければなりません。行動に信念を持ち、同時に他人に共感することが必要です。批判的に物事を考え、同時にその考えを表現する方法を身につけることが大切です。よりよい世界を創るために、伝統や歴史に敬意を払いながらも、改革を恐れない気持ちを持つべきです。みなさんには、そのような生徒になってもらいたいです。IMコースではみなさんがそのような心と力を持った「真の国際人」へと成長するための3つの柱となる教育プログラムを用意しています。1人1校を原則とした1年間の留学プログラム、留学後は国語以外の科目は英語で受講するイマージョンプログラム、高校生の視点から社会課題の解決を目指して行動を起こすグローバルリーダーシップスタディーズ。IMコースで3年間学べば、見える世界が変わっていることでしょう。

■ 理想とする人間像

探究する人	INQUIRERS	心を開く人	OPEN-MINDED
知識のある人	KNOWLEDGEABLE	思いやりのある人	CARING
考える人	THINKERS	挑戦する人	RISK-TAKERS
コミュニケーションができる人	COMMUNICATORS	バランスのとれた人	BALANCED
信念を持つ人	PRINCIPLED	振り返りができる人	REFLECTIVE

立命館宇治中学校・高等学校
ヒックス ジョーゼフ
HICKS Joseph Eugene



■ 立命館宇治高等学校のIMコース



「Immersion(イマージョン)」とは「没頭」を意味します。
英語に没頭、つまり「英語漬け」です。
英語で一般教科を学ぶことにより、
英語力と教科学力の両方を伸ばすことを可能にします。

ENRICHING
STUDY ABROAD

01

充実した
留学

IMコース 3つの柱

02

英語による
イマージョン
教育

ENGLISH
IMMERSION
EXPERIENCE

03

課題解決型
学習

PROJECT-
BASED
LEARNING



真の国際人を目指すための

IMコース 3つの柱

01

ENRICHING
STUDY
ABROAD

充実した留学

留学IMプログラムの例



【帰国後のプログラム選択】

留学プログラム
帰国後、他コースへ転コース

留学IMプログラム
帰国後、IMコースを継続して
イマージョン授業を履修

北半球コース



スモールタウンで、その国の文化に密着

カナダプログラム

10ヶ月プログラム

理系7ヶ月プログラム

地域密着型なので英語を話す機会が必然的に多くなります。日本人現地スタッフのケアが充実しています。理系プログラムでは日本人による数学補習があり、留学後は2年次4月よりIGコースでの履修をスタートします。

南半球コース



じっくり学べる
安心の環境

ニュージーランド

基本的な英語力を身につけ、ホームステイや学校生活など、留学生活に必要な準備を十分に行ってから出発。派遣先校は本校との提携期間が長い学校が多く、日本人現地スタッフのケアも充実しています。



広大な自然と
大らかな国民性

オーストラリア

クイーンズランド州教育省との連携による留学プログラム。留学先はブリスベン近郊とゴールドコースト近郊のいずれか。日本人現地スタッフのケアもあり、受け入れ体制も確立しています。



多様性を日々実感
留学生活は毎日が刺激的！

新しい人間関係を築く難しさや大切さ、留学先での人々の生活様式を学んだことがカナダ留学で得たことです。留学先の現地校であるCatholic Schoolでは、それぞれの信仰を尊重します。また、LGBTQ理解も進んでおり、多様性を重んじる場面を多く見ます。充実した日々を過ごしています。

森 麗さん



留学が教えてくれた
新しい価値観

特に課外活動のサッカーで価値観がかわりました。日本ではミスすることを恐れながらプレーすることがありましたが、こちらはミスを全く恐れずに自分がやりたいことを心から楽しんでいます。サッカーだけではありません。多くの人も同じことが様々な場面で起こっていると思います。Life is either daring adventure or nothing. 好きなことに挑戦。

斉藤 拓実さん

02

ENGLISH
IMMERSION
EXPERIENCE

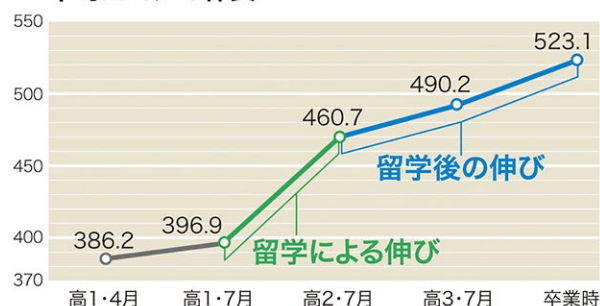
英語による イマージョン 教育

英検・TOEFL ITP® テストの成績が 高度な教育の証

入学時から一部の授業を英語で行い、学年とともにその割合を高めます。3年次には、原則として国語以外の教科をイマージョンで実施。留学中に身につけた英語力を維持するだけでなく、さらに伸ばすことを目的としています。3年次に600点以上を取得する生徒もいます。



高校IMコース3年間のTOEFL ITP®テスト 平均スコアの伸長



World History

海外の視点から歴史を学ぶ

Science for SDGs

地球課題を科学の視点から学ぶ

Art

1年生から実技科目を英語で

Academic Communications

英語による論文作成やプレゼンスキルの向上

Citizen ship

現代の諸問題を解く糸口を探る

第二外国語

トリリンガルを目指す

03

PROJECT-
BASED
LEARNING

課題解決型学習

GLS
Global Leadership
Studies

留学プログラムやイメージン授業と平行して、探究科目としてグローバル リーダーシップ スタディーズ(GLS)を展開しています。GLSではIMコースの3年間のカリキュラムとリンクさせ、「世界で起こっているこ

と」や「自分のやりたいこと、学びたいこと」に向き合います。変化の早いこれからの社会で逞しく生きる力を育むと同時に、社会へと貢献する精神と物事を生み出す力を持った国際人育成を目指します。

1st
Stage再発見
日本文化留学を前に、
まずは自国を見つめ直す。

日本を代表する歴史・文化の集積都市である宇治を舞台に、日本文化再発見をテーマとして学習をします。自国について海外に語れる知識とマインドを身につけ、留学します。

育む力

- 留学生としての自覚と目的意識
- 自国と相手国への理解と敬意
- 英語による調査・分析・発信力

異国でこそ実感する
日本のアイデンティティー

オーストラリアで過ごした日々は充実し、自分が世界の中のちっぽけな存在であること、恵まれた環境にいることを実感しました。どんな状況でも自分次第で多くのことを学び、わくわくしたものに変わっていくことができることを学びました。

小池 春伽さん

2nd
Stageグローバル
リーダーシップ魅力溢れる日本の
フロンランナーと出会い、
自分の使命と志を見つける。

魅力溢れる人間性を持ち、グローバル社会に貢献する事業を手掛ける講師の方々から、留学から帰国直後の生徒は多くの刺激を受けます。この講座を通して、自身の将来について考え、使命や志を見つけます。

育む力

- 世界で起こっていることへの興味と関心
- 自分らしく生きるためのマインドセット
- グローバルリーダーシップへの深い理解

講演者の圧倒的な情熱から
生き方について考える

研修旅行のカンボジアでは、カンボジア人の起業家と事業の発展を目指しました。地雷で片足を失い、辛い経験をされた起業家から自分達が恵まれた環境にいることを再認識しました。グループ全員で納得のいく成果を上げることができました。

林 正也さん

3rd
Stageグローバル
課題研究グローバル社会が抱える
諸課題に対して、自ら解決策を
提案し実現していく。

地元宇治やタイ・ラオスをフィールドとした課題解決型学習を行います。物事を生み出す力や精神(アントレプレナーシップ)を身につけます。

育む力

- 社会の課題を発見する力
- 自分の興味と社会の課題を結びつける力
- 課題を解決へと導く思考力・行動力

ラオス渡航を通して、
世界が抱える課題を実感

ラオス渡航を通して世界観が変わりました。ラオスの人々は今の暮らしに満足し、とても幸せそうでした。幸せのカタチは様々です。「支援」という方法でラオスの人と接するのではなく、対等な関係を築いていきたいと強く感じました。私はビジネスを通して、ラオスの人々に新しい世界を知ってもらえる活動をしていきます。

金原 有里紗さん

スタートからきめ細やかなフォロー体制

IMコース 学びの3STEPS

1st STEP

留学準備

■留学事前準備講座

留学に行く目的を明確に、動機を更に高める為の講座です。現地で求められる留学生像についても理解を深めます。



■高1・高3合同合宿

留学に向けて先輩からアドバイスをを受けたり、自分史の作成、共有を通して留学に向けての準備をします



〔 GLS 1st Stage 〕



日本文化再発見

日本の親善大使として、留学先で文化交流が行えるように、日本文化の魅力を再発見するプログラムです。

2nd STEP

充実した留学

■北半球・南半球

カナダ、ニュージーランド、オーストラリアの3か国いずれかで、1人1校を原則とし、現地校に留学します。そのため、日常生活はもちろん授業もすべて英語づけです。1年間お世話になるホストファミリーとは帰国しても一生のつきあいになります。部活動やサークルを通して多様なバックグラウンドを持った友人関係が築けます。



在校生
Interview

語学力を磨き、
将来の夢の実現を目指す

今年の8月からカナダへ。グローバルなミュージカル俳優になるために語学力を伸ばすだけでなく、多様な社会で視野を広げたいです。

2年 中村 光さん
(カナダより帰国)

在校生
Interview

高い語学力と国際感覚
問題解決能力を身につけたい

モチベーションの高い生徒が集まるこのコースで、高い語学力と国際感覚、仲間と協力して問題解決へと導く力を強化したいです。

2年 佐近 悠斗さん
(現在オーストラリア留学中)

3rd STEP

留学後の応用と発展

■イメージン授業 (Immersion Course)

国語以外の教科を英語で学び、留学で培った英語力を更に伸ばしていきます。



■留学報告会

留学の成果を振り返り、その後の成長につなげる為に、応援してくれた保護者、教職員、後輩に向けた報告会を実施します。



■研修旅行

GLS 3rd Stageにむけて、成長著しいアジアを舞台に、多文化共生や国際貢献などをテーマとした課題解決型研修旅行を実施します。



■その他の活動

2018年度より実施している高校生SR (Social Responsibility) サミット『FOCUS』では、全国の高校生達と互いの社会貢献プロジェクトについて話し合います。



〔 GLS 2nd Stage 〕



グローバルリーダーシップ

国内外で活躍中の講師陣による講座を通して、視野を広げます。

〔 GLS 3rd Stage 〕



グローバル課題研究

社会が抱える様々な課題を発見し、自ら解決策を模索します。

Wakkaプロジェクト
(タイ・ラオス就学支援)

ラオス教育支援
プロジェクト

宇治活性化
プロジェクト

2020年
卒業生
Interview

相手と良い関係を築きたい
その思いが一番大切

言葉や文化が異なる相手と人間関係を築くには、語学力だけでなく、相手と良い関係を作りたいと強く思う気持ち、互いを尊重し合うことが大切だと感じました。

希 栄美さん



2020年
卒業生
Interview

現地の大会で優勝も！
留学が活躍の場を広げた

現地校のサッカーチームでプレー。サッカーを通して控えめな性格が一変。積極的に意思疎通することで、充実し、自立した留学生活になりました。

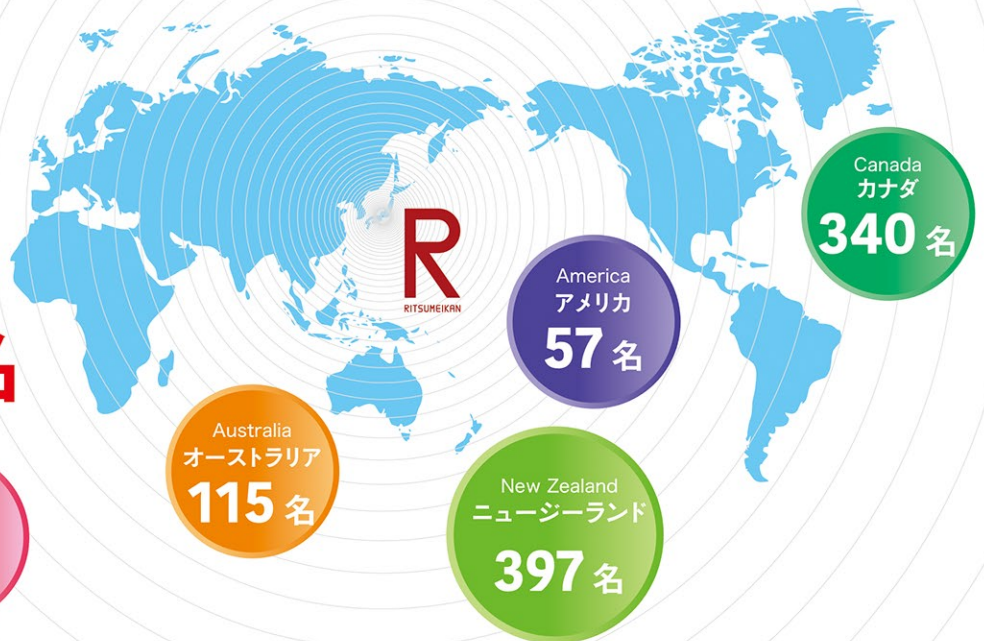
西田 流星さん



1年間留学した生徒が

924名

2000年度～2019年度
生徒派遣総数



IMコース 進路実績

(2020年4月現在)

立命館

立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部	5名
立命館アジア太平洋大学 国際経営学部	3名
立命館大学 グローバル教養学部	2名
立命館大学 スポーツ健康科学部	2名
立命館大学 映像学部	2名
立命館大学 経営学部	17名
立命館大学 経済学部	2名
立命館大学 国際関係学部	13名
立命館大学 情報理工学部	1名
立命館大学 食マネジメント学部	1名
立命館大学 政策科学部	4名
立命館大学 総合心理学部	1名
立命館大学 文学部	3名

海外

Orange Coast College (USA)	1名
----------------------------	----

国内

慶應義塾大学 法学部	1名
国際基督教大学 教養学部	2名
上智大学 外国語学部	3名
神戸市外国語大学 外国語学部	1名
早稲田大学 国際教養学部	2名
同志社大学 グローバル地域文化学部	1名
法政大学 グローバル教養学部	2名
防衛大学校	1名



OB-OG
Interview

世界を体感することで
自分の未来が大きく変わる

留学や海外研修、社会貢献活動を通して、今まで見えなかった世界を体感しました。教科書だけでは学べない知識や経験を得ることができ、自分の未来が大きく変わった気がします。

2016年卒業 釜井 明日香さん
ANA 関西空港株式会社勤務



OB-OG
Interview

挑戦することの大切さを
教えてくれた有意義な3年間

常に自分と向き合い、自分らしさを追求し、とことん葛藤したIM コースでの日々。思い通りにいかないことも多々ありましたが、挑戦し続けることの大切さを知った3年間でした。

立命館アジア太平洋大学
4年生 青木 萌映さん



OB-OG
Interview

これからの時代は、英語で考え
英語を使って学ぶことが大切

グローバル化するこれからの時代を生きるには、ただ単に英語を話す、聞くといったスキルだけでなく、英語で考え、英語を使って学べるようになることが大切。それが、第3、第4の言語を習得することにもつながります。

2011年卒業 置田 梨乃さん
株式会社/バンダイナムコエンターテインメント勤務



OB-OG
Interview

ここで学んだ多くのことが
今の自分の大きな糧に

このコースで学んだことで日本を出ることに対する心理的障壁がなくなり、アメリカでの大学進学、就職につながりました。世界史や宗教、政治といった世界共通の知識も、多様な人々と関わる上でとても役立っています。

2011年卒業 辻田 圭佑さん
EA vision drones/robotics (シリコンバレー)勤務



立命館宇治中学校・高等学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町八軒屋谷33番1
TEL:0774-41-3000 FAX:0774-41-3555

<http://www.ujc.ritsume.ac.jp/ujc/> 立命館宇治

検索

